

発達障害相談事業・2005年の概況

電話による発達障害相談

1. 実施回数 153回

第1期	平成17年1月11日	～	3月25日	40回
第2期	平成17年4月11日	～	7月19日	54回
第3期	平成17年9月5日	～	12月22日	59回

2. 相談件数 378件 (図 1 相談者のべ件数)

第1期	78件
第2期	145件
第3期	155件

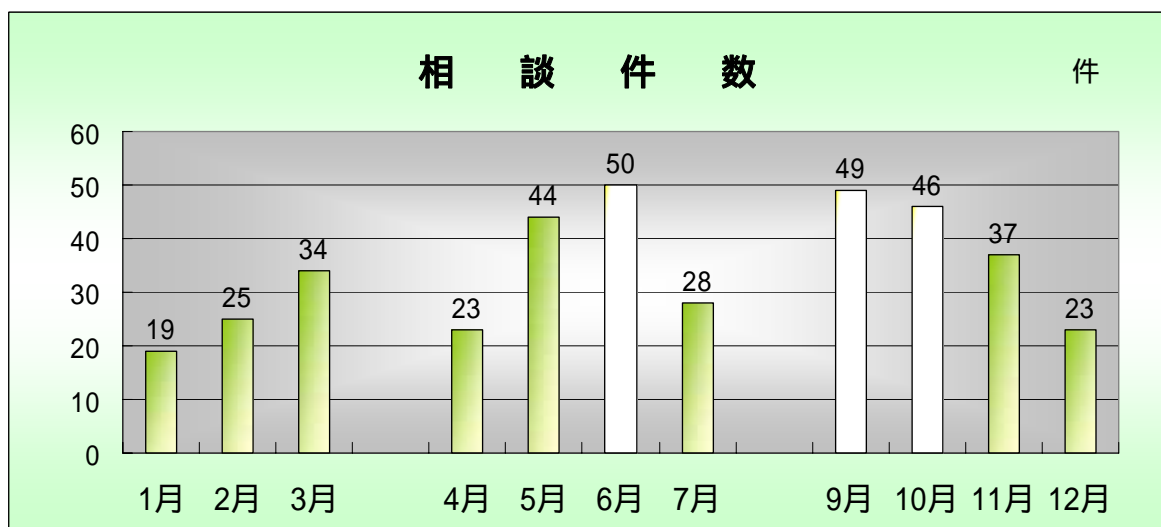


図 1 月別相談件数

3. 相談者及び相談の主訴分類

1) 相談者の分類 (図 2)

母	親	-----	218	件	(57.7%)							
学	校	教	員	-----	18	件	(4.8%)					
施	設	職	員	-----	23	件	(6.1%)					
幼	稚	園	保	育	園	担	当	者	-----	64	件	(16.9%)
親	類	-----	12	件	(3.2%)							
父	親	-----	13	件	(3.4%)							
本	人	-----	17	件	(4.5%)							
そ	の	他	-----	13	件	(3.4%)						

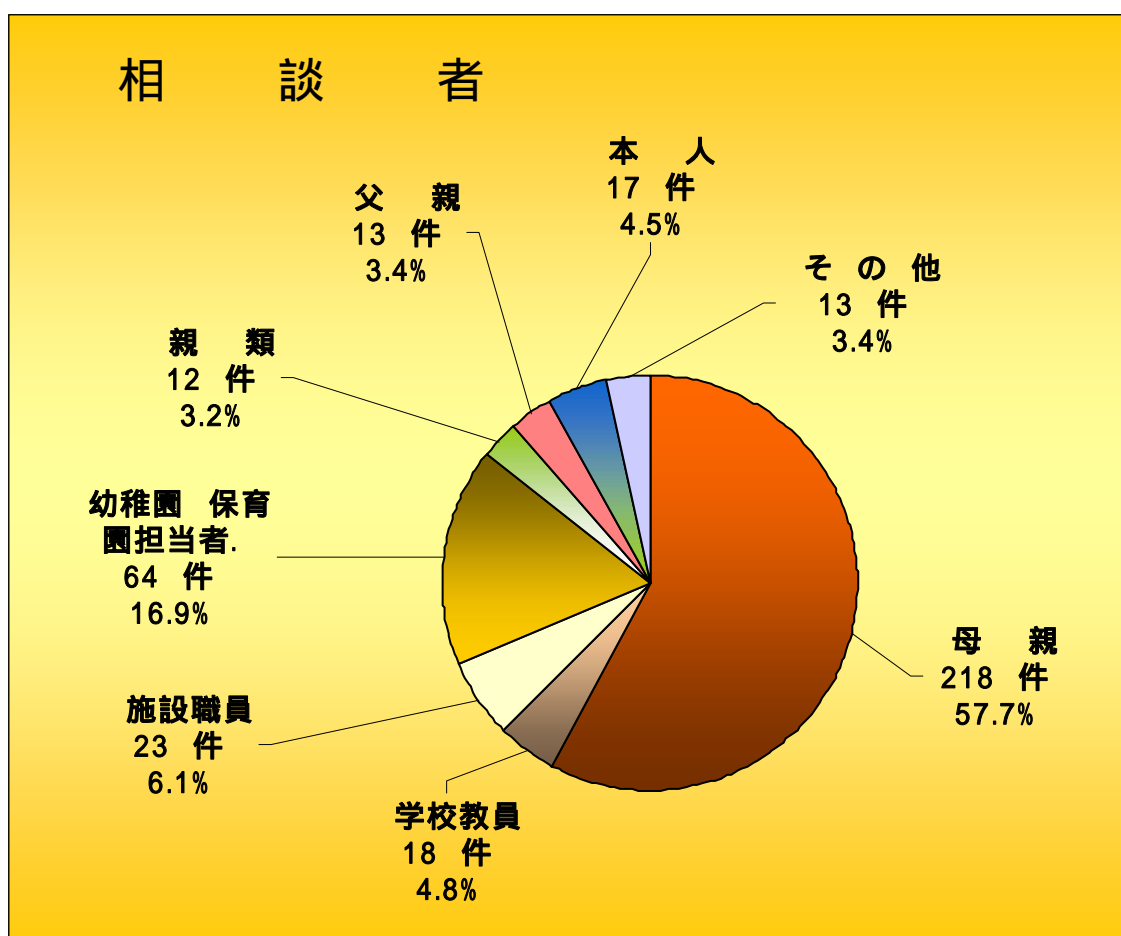


図 2 相談者の分類

2) 相談者の居住地域 (図 3)

東京都多摩地区	-----	155	件	(41.0%)	
東京都特別区(23区)	-----	104	件	(27.5%)	
東京都以外の道府県	-----	105	件	(27.8%)	
海	外	-----	2	件	(0.5%)
不	明	-----	12	件	(3.2%)

相談者居住地域

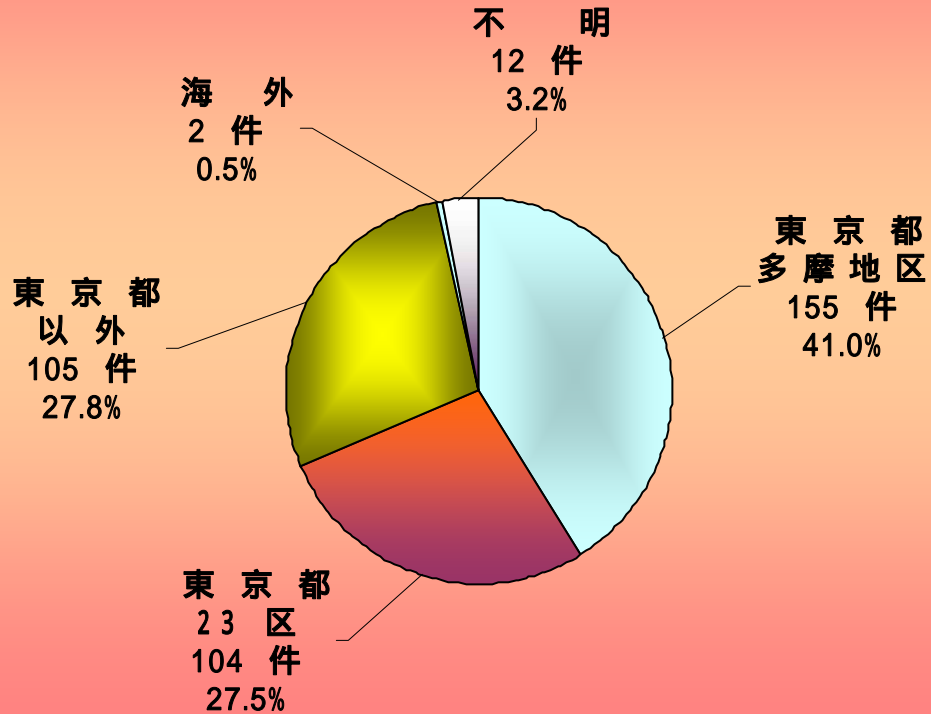


図 3 相談者の居住地域

3) 相談の契機 (図 4 重複あり387件)

知人または紹介されて	-----	39件	(10.1%)
ホームページから	-----	146件	(37.7%)
パンフレットを見て	-----	2件	(0.5%)
本や資料を見て	-----	36件	(9.3%)
附属養護学校から	-----	5件	(1.3%)
教員からの紹介	-----	95件	(24.5%)
不明	-----	6件	(1.6%)
その他 含テレビ番組	-----	58件	(15.0%)

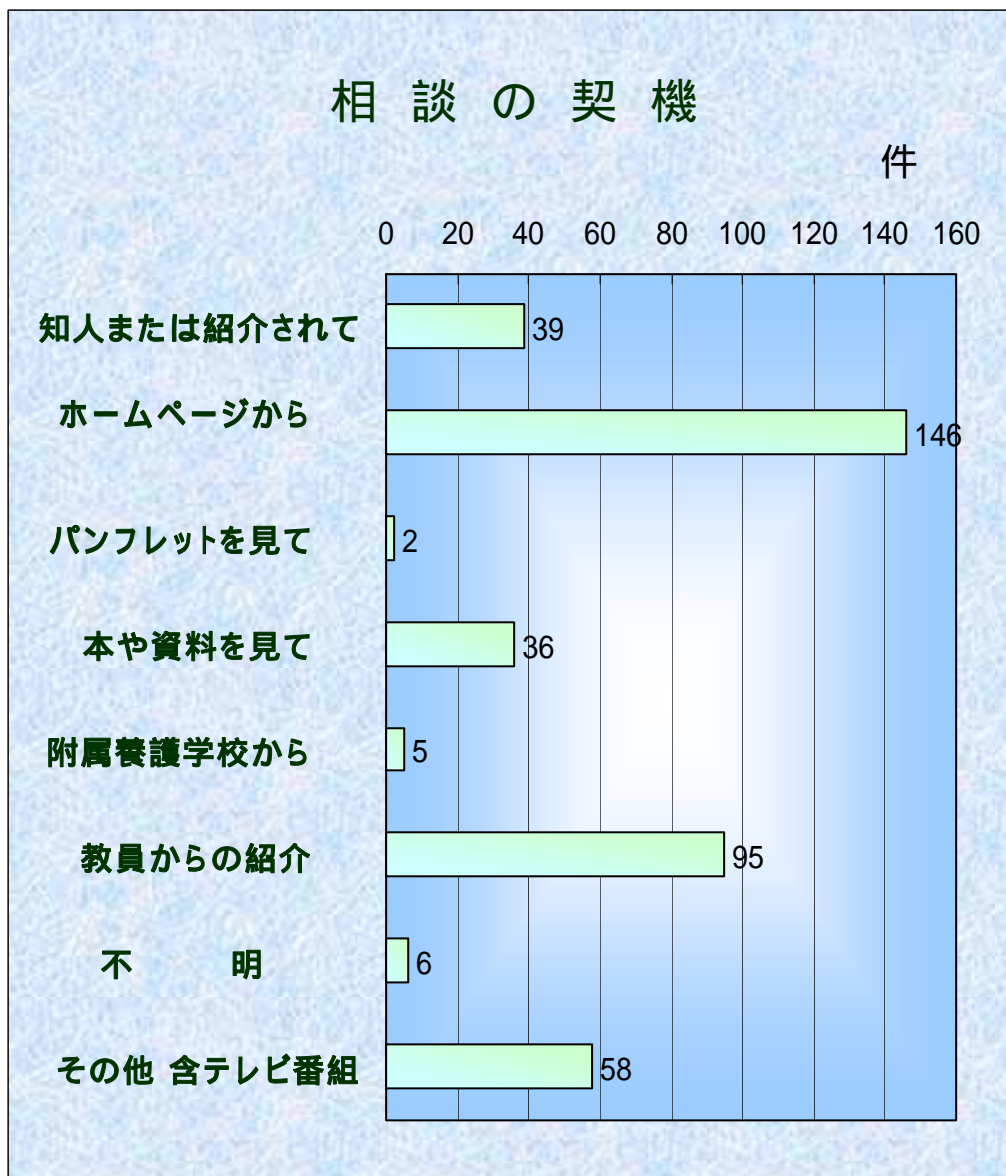


図 4 相 談 の 契 機

4) 主 訴 分 類 (図 5 相 談 者 からの 重 複 相 談 件 数 5 6 8 件)

発達の遅れ	-----	7 1 件	(1 2 ・ 5 %)
ことばの遅れ	-----	3 7 件	(6 ・ 5 %)
学習の遅れ	-----	9 1 件	(1 6 ・ 0 %)
発音の問題・吃音	-----	8 件	(1 ・ 4 %)
集団不適應	-----	6 1 件	(1 0 ・ 7 %)
対人関係コミュニケーション	-----	5 9 件	(1 0 ・ 4 %)
多 動	-----	2 4 件	(4 ・ 2 %)
育 児	-----	1 0 件	(1 ・ 8 %)
障 害 理 解	-----	2 0 件	(3 ・ 5 %)
進路・就学・転学	-----	5 9 件	(1 0 ・ 4 %)
機関の情報提供	-----	4 5 件	(7 ・ 9 %)

療育・指導方法	-----	37	件	(6・5 %)
問題行動	-----	14	件	(2・5 %)
当施設の指導希望	-----	10	件	(1・8 %)
その他	-----	22	件	(3・9 %)

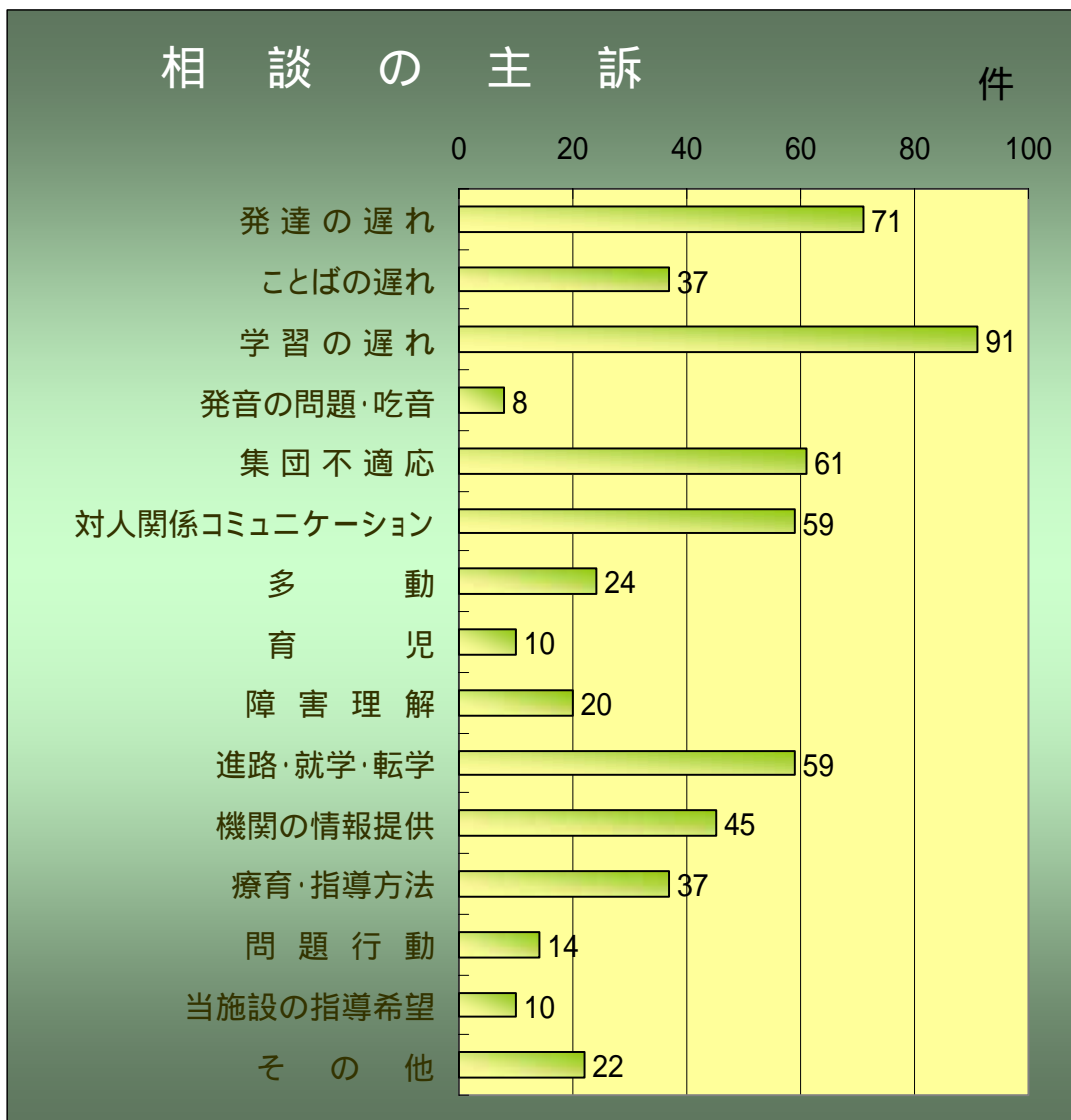


図 5 相談内容の主な分類

5) 相談主訴の対象や内容の障害種別 (図6 重複あり 障害児・者 433件)

知的障害	-----	76	件	(17・6 %)
言語発達遅滞	-----	27	件	(6・2 %)
構音障害・吃音	-----	7	件	(1・6 %)
自閉症(アスペルガー)	-----	110	件	(25・4 %)
L D	-----	90	件	(20・8 %)
A D H D	-----	39	件	(9・0 %)

ダウン症	-----	9 件	(2・1 %)
聴覚障害	-----	34 件	(7・9 %)
不明・その他	-----	41 件	(9・5 %)

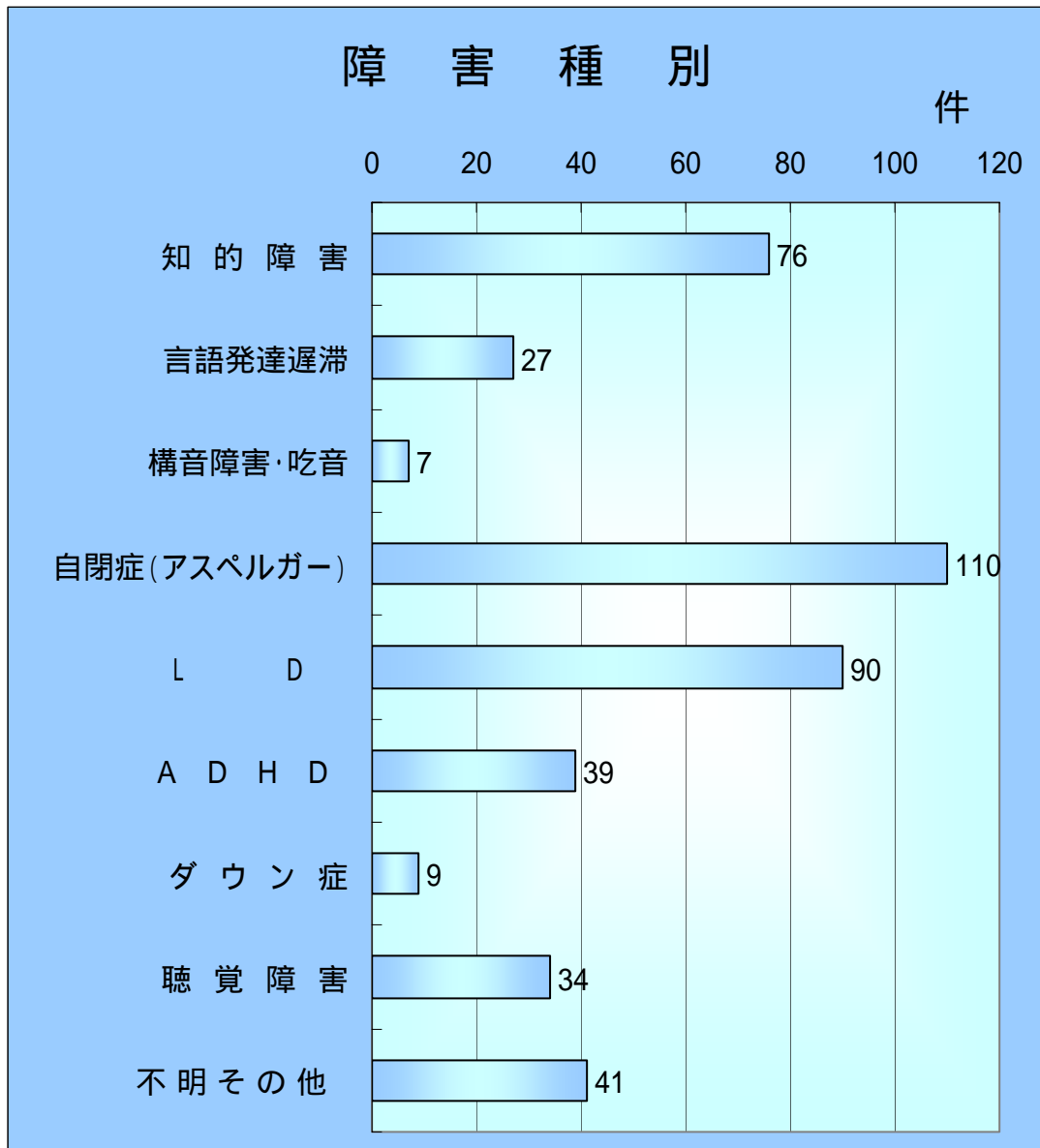


図 6 相談主訴の対象や内容の障害種別

6) 相談主訴の対象である障害児・者の年齢構成 (図7 障害児・者 378 件)

乳 児	(0 ~ 2 歳)	-----	15 件	(4・0 %)
幼 児	(2 ~ 6 歳)	-----	165 件	(43・6 %)
小学校・小学部児童	(6 ~ 12 歳)	-----	109 件	(28・8 %)
中学校・中学部生徒	(12 ~ 15 歳)	-----	40 件	(10・6 %)
16 歳 以上	(16 ~ 18 歳)	-----	8 件	(2・1 %)

成人18歳以上	-----	35件	(9.3%)
年齢不明	-----	6件	(1.6%)

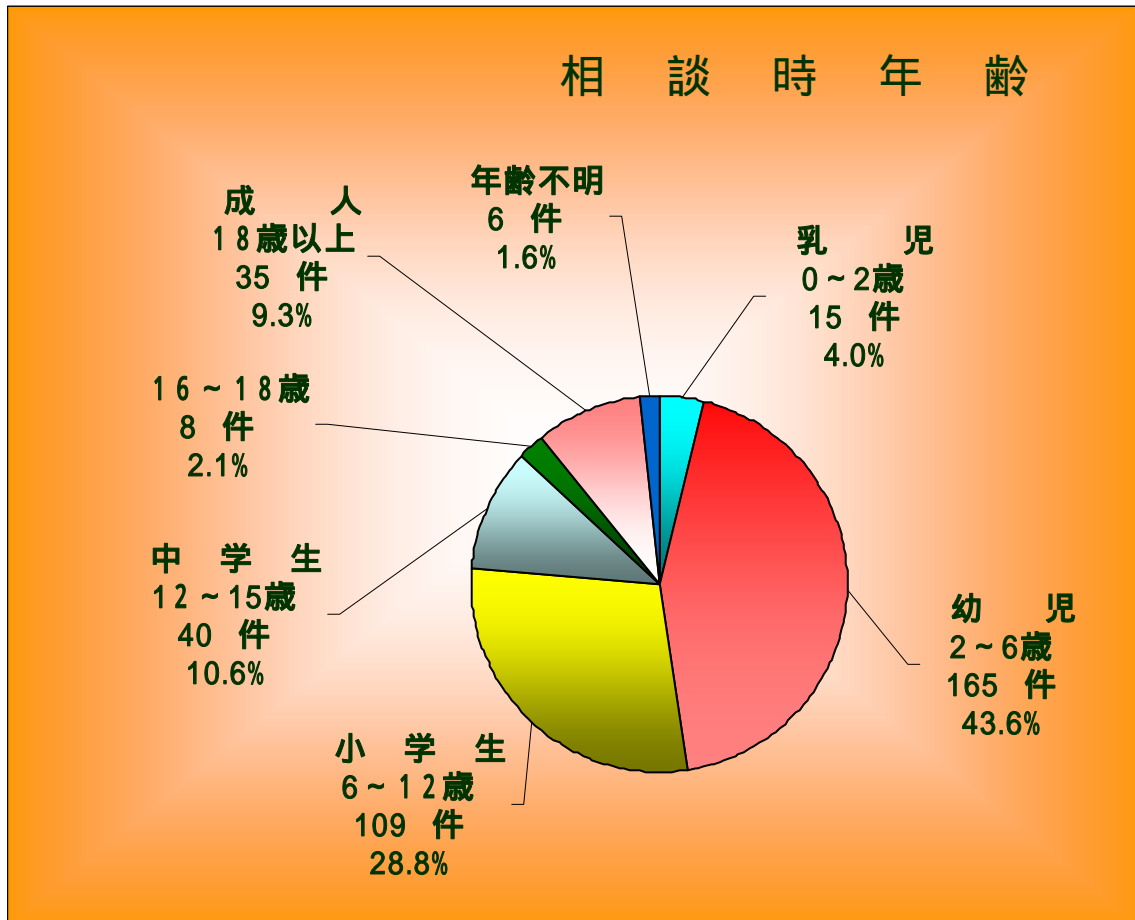


図 7 相談主訴の対象児・者の年齢構成

7) 相談結果とその処遇 (図 8 重複あり 386件)

教員による専門相談で終了	-----	267件	(69.2%)
継続して相談	-----	75件	(19.4%)
来所相談が望ましい	-----	15件	(3.9%)
他機関に紹介が望ましい	-----	14件	(3.6%)
電話受付段階で終了	-----	15件	(3.9%)

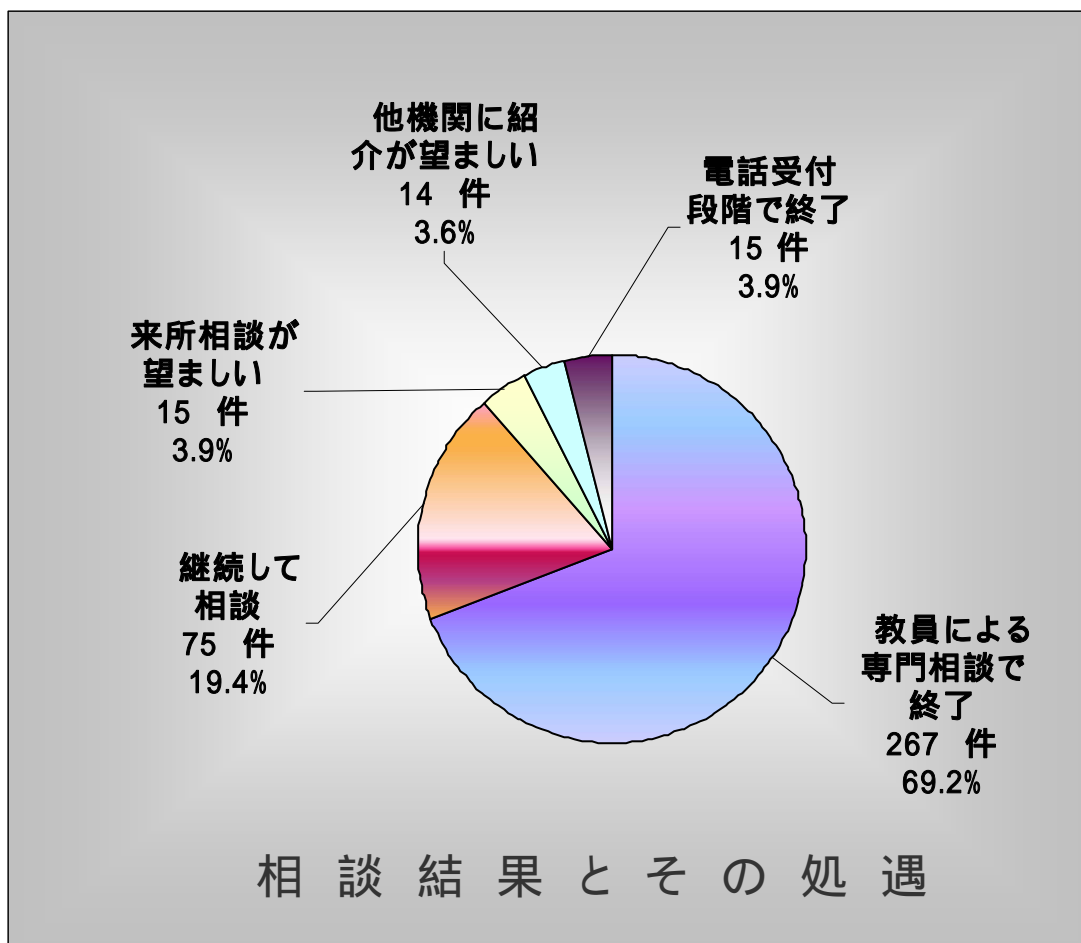


図 8 相談結果とその処遇